

2023-24年度 朝岡会長テーマ -みんな 楽しく 仲良く そして未来へ-
第 3122 回例会 令和 5 年 11 月 14 日(火) 天気:晴 No.14

2023-24年度
RIテーマ



世界に希望を生み出そう



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治

クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 宍戸秀隆

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <https://www.nishio-rotary.org>

【本日のプログラム】

司 会 杉田武男例会運営委員長

斉 唱 「我等の生業」

食 事 とんかつ錦

スピーカー (一社)西尾青年会議所 第67代理事長 石原久嗣氏

「青年会議所の魅力・自身の成長」



【会長挨拶】



1953年11月10日に生まれ、先日古希のお祝いをしていただきました。ロータリーでは小田井さんと加藤典男さんと山尾令さんが同い年です。5月にイギリスのチャールズ国王の戴冠式が行われました。その70年前。1953年にエリザベス女王が当時25歳で戴冠式をされました。その戴冠式に上皇様(当時の皇太子様)が当時19歳で参加されています。3月30日に横浜で客船に乗船し、ハワイ・サンフランシスコ・バンクーバー・ニューヨークを経由して4月27日にイギリスに到着され、6月7日の戴冠式に出席された後はヨーロッパ大陸に渡って、フランス・スペイン・イタリア・バチカン・ドイツ連邦共和国などヨーロッパ各国を巡り、10月12日に帰国しました。8

月にはドイツで行われたレースを見られました。当時はF1よりF2のレースが人気でした。当時は今考えると危ない位のすぐそばでレースを見ることができました。優勝したフェラーリの車は2リッター・4気筒で形式的には今の車と全く同じような形です。当時の皇太子様はこのレースを見てどのようなことを感じられたのでしょうか。ご自身が携帯されていたニコンのカメラでレースの写真を撮っているところの写真が記録として残っています。

【委員会報告】

〈出席委員会〉本多 淳委員長

本日の出席数 56名

欠席数 14名

出席率 80%

〈スマイルボックス委員会〉谷崎直樹委員長

朝岡 正君 地区大会2日間、田中パストガバナー、松田幹事ご苦勞様でした。また2日目参加して頂いた皆様ご苦勞様でした。有難うございました。

ようこそ西尾ロータリーへ。西尾青年会議所、第67代理事長 石原久嗣さん宜しくお願ひ致します。

松田茂治君 地区大会には多くの皆様にご参加頂き、有難うございました。

西尾JC石原久嗣様ようこそ西尾RCへ。卓話よろしくお願ひ致します。

山崎周彌君 西尾JC理事長 石原君のスピーチに期待致します。

秋も終わりに例会も久し振り、少し寒いのですが、気分は大変良い時期です。例会担当の方に感謝。

三浦康彦君 石原久嗣理事長の卓話、楽しみです。頑張ってください。

浅岡直幸君 石原理事長ようこそ西尾RCへ。9月の会員大会はお疲れ様でした。本日の卓話よろしくお願ひします。ちなみに彼は花嫁募集中です。

杉浦義浩君 誕生日プレゼントを頂きました。有難うございました。

羽佐田芳和君 西尾自治功勞表彰を17日に頂ける事になりました。身に余る光榮と感謝です。

柴田高広君 工業新聞に1000トン鍛造プレス導入の記事が載りました。常温で金属を変形させる技術。これが500円硬貨だったらもっとうれしいのに。

奥谷泰介君 ご報告が遅れましたが、先月20日に次女が無事に生まれました。三カ月にわたる長女との二人暮らしも、まもなく終わりを迎え肩の荷が下りる思いです。

岩瀬正広君 次男が先週結婚しました。ディズニーランドでミッキーたちが喜んでくれました。出る幕なしでした。

谷崎直樹君 バッチ忘れ。

〔卓話〕

(一社)西尾青年会議所 第67代理事長 石原久嗣氏 「青年会議所の魅力・自身の成長」



青年会議所は20歳から40歳までの志の高い青年経済人によって「修練」「奉仕」「友情」という3信条のもと「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年団体です。修練は人づくりで、日々の仕事や様々な活動の中で活躍できる人材となるためにスキルアップやリーダーシップを学ぶだけでなく、能動的に行動できる力を身につけ実践することで自己成長へと繋げていきます。奉仕は町づくりで、地域の活力を生み出すために能力を用いて、地域社会へ奉仕を行います。ボランティアやクリーン事業など様々な分野に率先して取り組むことでより良い町づくりへと貢献することができます。

友情は修練と奉仕を支える力で、青年会議所のメンバーが同じ志を貫くために友情が存在しています。共に苦労を分かち合いながら事業に取り組むことで、普段仕事をしているだけでは得ることができない絆が生まれ、お金には代えられない一生付き合える仲間を作ることができます。西尾青年会議所は1957年、119番目に誕生し、本年度で67年目、現在の会員数は118名です。中村市長など総勢596名の先輩が西尾青年会議所出身で、卒業されてからも地域の発展のために活躍されている方が多くいます。西尾青年会議所の2023年度スローガンは「一味同心～共に成長し、共に一歩前へ～」を掲げました。これには、同じ志を持った仲間のため、組織のために活躍できるメンバーを増やしていきたいという思いがあります。人は1人では生きていけません。誰かの力を借り、知恵をもらって動き、見えないところで多くの人に関わって生きています。相手の立場になり考え、行動を起こすことが人の思いを動かし、心豊かになり、明るい豊かな社会の実現に繋がっていくと考えています。青年会議所の活動は、地域とのふれあい、協力の機会、多くの方々との繋がりを通じて自己成長へと繋げ、その学びを社業へと活かすことが特徴の1つです。1年を通じ私は、実際に体験することを大切にしてきました。体験して学ぶことで経験値が増え、その後に活かすことができると考えています。今年度は愛知ブロックを西尾で開催しました。42年ぶり2回目での西尾大会は2年前から準備を重ねてきました。西尾市の魅力を最大限に伝えるために考えました。西尾市には多くの観光資源がある中で、来訪者の8割以上が県内からで、買い物や食事目的が多く、滞在時間が短いため多様な資源を十分に活かしてあげられず、観光資源も限定的なものになっています。遠方からの観光客の誘致を図り、滞在時間の延伸と宿泊観光を促し、観光消費を拡大させるためには佐久島のアート観光や吉良の温泉観光、潮干狩り観光、祭りの文化財観光など本市の魅力を感じられる滞在型コンテンツを国内外へ広くPRし、認知してもらおう必要があると考えます。9月の愛知ブロック西尾大会にあわせて、記念事業を開催しました。1つ目は西尾の抹茶体験、2つ目は饗庭塩のコラボスイーツ販売、3つ目はさつま芋せんべいの試食会です。今回の経験から改めて西尾市の魅力に触れることができ、魅力を発信し、課題を解決していくためにはJCだけでなく行政をはじめとする西尾市で活躍する様々な方々と同じ目的に向かって協働していくことの大切さを学びました。様々な方と協働して架け橋となり、西尾市をさらに活性化させる活動を今後も展開していきます。青年会議所には強い絆が生まれる仕組みがあります。西尾青年会議所への参加をご子息や会社の幹部の方におススメ頂ければと思います。



11/12(日)2760地区大会 in名古屋国際会議場

